

としょかんつうしん 図書館通信 3月号

さむ なか あたた ひ ざ
寒さの中にも、少しずつ暖かい日差
しを感じられるようになりました。

そつぎょうせい みな そつぎょう
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう
ございます。環境が変わったり、新し
いことを始めるとき、勇気をもらった本
や言葉を持っていると、きっと力にな
ってくれるはず！これからも「本との出
会い」を大切にしてくださいね♪



ほん きゅうしょく 本と給食のコラボ★

がつ にち ほん
1月31日、『ハリーポッター』の本に



で りょうり きゅうしょく とうじょう
出てくる料理が給食に登場！

き も み ち か
ハリーの気持ちをぐっと身近
に感じることができました♪

てんじ しょうかい 展示コーナーの紹介★

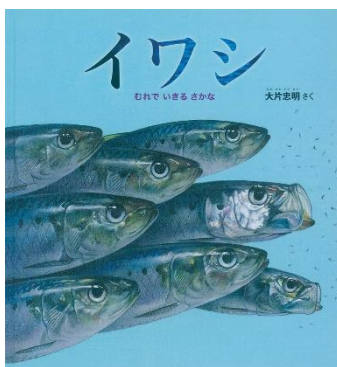


こんげつ てんじ ことし おも
今月の展示は、みんなの『今年の思い
で のこ ほん と しょうがり き かく
出に残った本』です。図書係が企画し、
ぜんこうせいと はいふ
全校生徒にアンケートを配布しました。
と しょうがり てんじ こうせい ていしゅつ
図書係で点字の校正をして、提出された
ものを図書室の廊下に貼りだしました。



ことし おも で ほん しょうかい
みんなの今年の思い出の本を紹介します。

『イワシ むれで いきる さかな』



てんじ ほん
いわしの点字の本には、いわしを
さかな
たべようとする魚がいっぱいでて

きます。その^{さかな}魚の名^な前^{まえ}も^か書いてあったので、うれしかったです。

たくさんいた いわしが、^{すく}少なくなっただけど、ほかの^{さかな}魚と^{ごうりゅう}合流して、^{おお}大きくなったのがすごいです。
^{てき}敵が、たくさんいるのに、いわしがなくなってしま^{おも}うことがないのかなと思いました。

^{ほか}他の^{てき}敵がきたら、^{すこ}少しだとなくなるから、^{おお}大きくなっているのかな。いわしって、^{おも}すごいなと思^{おも}った。

『^{ほう か ご}放課後ミステリクラブ 1



^{きんぎょ}金魚の^{およ}泳ぐ^{し けん}プール事件』

きんぎょの およぐ プール じけんは、いたずらだったと おもっていたけど それは まさかの ひとだすけだと いうことが びっくりしました。

クラスの しげたくんが おじそうさんの ちかくに いた ねこを なんとか たすけだしたくて フェンスを のりこえて けがを してまでも ねこを たすけだして それを した さお

とめさんが しげたくんが おこられたと おも
い きんぎょの およぐ プールを つくったと
いうところが かんどう てき でした。

こんどは また べつの ミステリークラブ
の おはなしを よみたい です。

『わかったさんのこんがりおやつ』



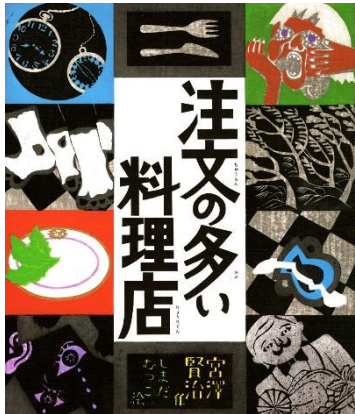
わかったさんはふつう^{しろくろ}白黒の^え絵
だけど、この本^{ほん}はカラフルにな
っていてわかりやすくて、かわ
いかったです。そして、^{つく}作り^{かた}方
も とちゅうにのっているから^{じっ}実
さいに^{つく}作^{おも}ってもいいかなと思いました。

『もったいないばあさん』



さいしょはもったいない、もっ
たいないといってくる、うるさい
かんじだったけど、いいこともあ
って、^{ほく}僕^{こころ}の心^{ほく}をゆらしました。僕
も、もったいないことをしないよ
うにがんばります。

『注文の多い料理店』



前半

山奥に行けば行くほど仲間がどんどん消えていく場面が実際に自分で体験したら、「怖くて電話するだろうなあ」と思いました。まあ、この時代には電話がないかもしれないけど…。

中盤

おなかがすいているのに、廊下や扉ばかりで、僕だったら主人公のように「早く飯を食べさせろ」と思います。僕は、壁に描かれた注文が怪しくなった時から振り返ってどんどん後ろに戻っていくと思います。

後半

食べる人が現れたとき、僕だったらしゃがんで身を隠すと思います。二人が注文通りに動いたことにとてもこうかいしている場面が、とて

おもしろ
も面白かったです。くしゃくしゃになった顔が
もと もど
元に戻らなかったのは、「もし^{わす}忘れることが出来^{でき}
たら顔が元に戻るんじゃないかなあ」と、もうそ
うしていました。

『オニじゃないよ おにぎりだよ』



おにぎりをたべて ぐーたらする
オニたちと それをこわがってに
げる人間^{にんげん}たちがおもしろかったで
す。まずーいおにぎりを^た食べてい
る人間^{にんげん}が かわいそうになり お

いしい おにぎりをたくさん^{つく}作ったのですが…。

『はしる！新幹線^{しんかんせん} かがやき』



こうがい^{こうがい}がく^{がく}しゅう^{しゅう}
校外学習でトレインパークに行^い
く前^{まえ}によみました。本^{ほん}に出てきた
グランクラスのごうかなイスに
すわ^{すわ}って^き気^も持ちよさを^{かん}感じました。

しんかんせん はや ほん とお
新幹線は速くて本の通り、シュゴォォーと
とお い
通って行きました。

『ぐりとぐら』



ぐりとぐらの 2 ひきの ねず
みが ちからを あわせて かす
てらを つくって もりの みん
なで たべたところが ほっこり
していて いい はなしでした。

『にじいろ 虹色のパズル』



この ほんは ちゅうがくせい
が しゅじんこうの ほんで、
L G B T Q プラスを とりあげ
て います。しょうがいしゃや
だんじょ びょうどうなど しゃ
かいに ある こころの なかの
あたりまえが じぶんの なかで
くつがえされる ほんでした。せかいには い
ろいろな ひとが いて さべつが おきる
こともあるけど、いろいろな ひとが いるか
らこそ しゃかいが なりたって いるのだと
きづき かんどう しました。

『コングラガっち どっちにすすむ？の本』



子どもも大人も楽しめる本です。
ウィナーチーズハンバーグが
子ども達のお気に入りだったよう
で、作ってほしいとお願いされたの
を思い出します。

『弱いメンタルに劇的に効くアスリートの言葉』



この本は ポジティブ思考がサク
セスストーリーに結びつくトップ
アスリートの話ではなく、メンタ
ルの弱いネガティブな言動が一流
のプレイヤーにもあり、そこから抜

け出すことが大事だと書かれています。この中には
意外な3つのポイントがあります。

1つ目は弱気であること。2つ目は自分流を見
つけること。3つ目が挫折を経験していることで
す。言い換えれば、精神的回復力が大きいほど挫

折^{せつ}を乗^のり越^こえられる力^{ちから}がある。そして自^じ分^{ぶん}の弱^{じやくてん}点^{てん}
を強^{つよ}みに変^かえること。また、そこ^{じぶんりゅう}から自^じ分^{ぶん}流^{りゅう}のポ
ジティブな思^し考^{こう}をつく^{つく}りだ^だすことだと思^{おも}います。
ど^{どころ}んなアスリートにも心^{こころ}の弱^{よわ}い部^ぶ分^{ぶん}があり、それ
を乗^のり越^こえる方^{ほう}法^{ほう}を知^しっている者^{もの}だけが、トッパ
アスリートになるのだとい^りうこ^{かい}がよく理^り解^{かい}で
きま^{もくひょうせってい}した。また目^め標^{ひょう}設^せ定^{てい}をど^おこに置^おくかによ^おって、
世^せ界^{かい}観^{かん}やそ^ごの^{じんせい}後^{かん}の^か人^{じん}生^{せい}観^{かん}ま^もで^かもが^か変^かわ^わるこ^こが
あ^{わたし}ります。私^{わたし}もこ^{さんこう}れ^{さん}か^{こう}ら参^{さん}考^{こう}に^{さん}し^てみ^{たい}と^{おも}い
ま^すす。



『変^{へん}な家^{いえ}』

こ^{とお}の^ふタ^かイト^{かい}ルの^ま通^どり、不^す可^い解^えな^い間^い取^えり^え図^えの^い家^えが
舞^ぶ台^{たい}とな^{もの}って^がい^{たり}る^{物語}物^{ものが}語^{たり}です。ま^{さい}だ^ご最^{さい}後^ごま^よで^よ読^よめ



て^{きょう}い^みない^ぶの^かです^なが、興^{きょう}味^み深^ふい^か謎^な
が^{つぎ}次^{つぎ}々^{つぎ}に^{つぎ}で^{つぎ}て^{つぎ}く^{つぎ}る^{つぎ}の^{つぎ}で、ど^ひん^こど^ひん
引^ひき^ひ込^ひま^ひれ^ひて^ひい^ひき^ひま^ひす。ど^ひん^こな^ひう
ス^たト^たに^たなる^たか^た楽^たし^たみ^たです。

こんげつ しんかん
今月の新刊

しょうかい しんかん てんじばん
 紹介した新刊は、すべて、点字版・
 おんせい ばん
 音声ディジー版あります。



『きみのお金は誰のため』

ボスが教えてくれた
 お金の謎と社会のしくみ』

「お金って一体何だろう？」中学生
 の主人公が謎の「ボス」から講義を
 受け、疑問に答えていく物語です。



『あなたの言葉を』

「正解」のない世の中で、自分の
 言葉で考え、気持ちを伝えられる
 ようになるために一。人気作家の
 辻村深月が自らの体験をもとに語
 りかけるエッセイ集です。



『注文に時間がかかるカフェ』

たとえば「あ行」が苦手な君に』

人と話したいけど言葉が出てこない
 —そんな悩みを抱えた若者たちが、
 吃音で悩む人達のために、奇想天外
 なカフェを始めた。自分らしく社会
 に一歩踏み出す力をくれる本です。